

第2回 ディープテックスタートアップ事業化支援委託業務に係る
公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会の選定結果について
議事要旨

令和8年4月22日（水曜日）

1. 日時及び場所

令和8年4月22日（水曜日） 午後1時から午後3時
大阪府庁 新別館北館1階 会議室兼防災活動スペース3

2. 審査方法

あらかじめ定めた審査基準（公募要領に記載）に基づき、3名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査により100点満点で総合評価を実施。最終的に各選定委員の評価を集計し、評価点数の平均が60点以上の提案者のうち最高得点の者を最優秀提案事業者として選定。

3. 審査対象者（提案者）

- ・NQ Deep Tech Studio 共同企業体
（MIRACLE SCIENCE INNOVATION 株式会社、株式会社産学連携研究所、一般財団法人未来医療推進機構、社会医療法人大阪国際メディカル&サイエンスセンター、公益財団法人都市活力研究所、りそな総合研究所株式会社）

4. 議事要旨

- ・選定委員会は非公開とすることに決定
- ・審査方法及び審査基準の確認
（総合評価点の平均が60点に満たない場合は選定しない旨を確認）
- ・企画提案部分について、提案者が20分間のプレゼンテーションを実施
- ・選定委員から15分間の質疑応答を実施
- ・審査の結果、「NQ Deep Tech Studio 共同企業体」を最優秀提案事業者に決定

【主な委員意見】

- 医療現場のニーズに合致した研究シーズを提案し、発展に向けて伴走支援する提案となっている。また、初期の段階から大手企業との関係性構築が図られるものとなっており、成長の可能性がある。昨年度実績を踏まえた入口・出口双方の体制構築は評価できる一方、現場での役割分担や情報共有の実効性、資金使途の整理・可視化、責任体制の明確化が今後の課題である。
- 全体の企画としては、昨年度に比べて整理されており、実施内容も目的が明確となっている。事業会社とのつなぎにおいて、企業秘密にアクセスすることを考えると、少しスケジュール的に厳しくなるのではないかと感じた。
- 出口戦略として企業との連携を早い段階から行うという内容は、事業化のために有益と思われる。自走化のプランがやや抽象的と感じた。

5. 選定委員会委員の氏名及び選定理由（五十音順）

所属・職名等	氏名	選任理由
大阪商工会議所産業部 ライフサイエンス振興担当 事業化支援アドバイザー	内村 英一郎	ライフサイエンス分野における、産学連携を通じた国際的なイノベーション創出に関する専門的な視点から、企画案について審査していただくため。
近畿大学経営学部 教授 近畿大学経営イノベーション 研究所 所長	文能 照之	創業・ベンチャー分野に精通しており、学識経験者の視点から事業会の企画案全般について審査していただくため。
弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士	堀内 聡	法律の諸問題に精通しており、コンプライアンス等業務遂行能力・体制を中心に審査していただくため。